

品質経営で
明るい未来を創る

変化に適応し続けるソフトウェア品質管理研究会

－ 生成AI時代に求められるソフトウェア品質技術者とは？－

栗田 太郎	フリー株式会社
中谷 一樹	TISI株式会社
平山 照起	一般財団法人 日本科学技術連盟

ソフトウェア品質研究会とは？



ソフトウェア品質管理研究会とは？

「**ソフトウェア品質技術全般を扱う研究会**」で、来年度で43年目を迎える伝統と歴史のある研究会です。

本研究会は、ソフトウェア品質管理への入門としての位置づけから、高い管理技術、開発技術の更なる研究と各技術の精緻化を目指し、年間で活動を行います。

斯界の第一人者や各分野の専門家を講師としてお招きし、喧々諤々と議論・学習できる場として、毎年、各企業からソフトウェア品質の向上を目指し、約80名を超える方々に参加いただいております。

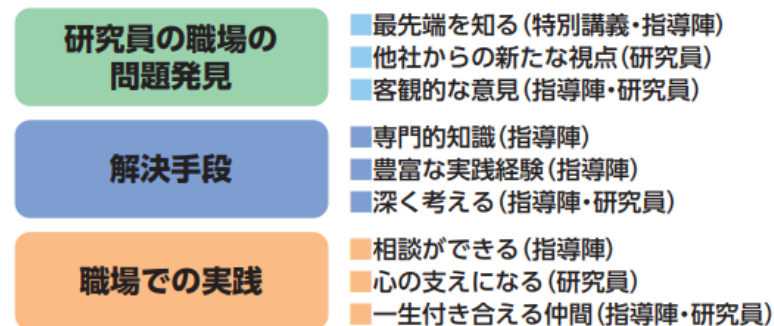
昨今の生成AI技術の進展により、各分科会活動においても、**生成AI**×●●といった研究活動が進められております。

＜本研究会が目指す人材育成＞

- ・単に**技術を教える場・教わる場**はありません。
本人が習得しただけでは組織の改善に繋がりませんし、習得した技術を実務に適用し、問題解決・課題達成することは、容易ではありません。
- ・問題解決・課題達成が出来る人材を育成するために、
 - ◇**実務に応用可能なレベルまで深く指導**
→実践経験豊富な指導陣が1年間掛けて、教科書レベルではないリアルな技術を指導
 - ◇**現場を説得できる人間力を醸成**
→研究員同士で議論を交わしながら論文をまとめるなどの試練を乗り越えてもらう

参加者自身が「人生のターニングポイントとなった」

会社内・社会で一目置かれる人材に生まれ変わるきっかけを提供



ソフトウェア品質研究会 活動内容のご紹介



ソフトウェア品質管理研究会 年間スケジュール

例会No.	開催日 ※	活動内容 AM／PM	
1	2027年 5月	特別講義①	分科会活動
2	2027年 6月	特別講義②	分科会活動
3	2027年 7月 ※	1泊2日の合宿（会場：都内近郊）	
4	2027年 9月上旬 ※	ソフトウェア品質シンポジウム（本会議）	
5	2027年10月	特別講義③	分科会活動
6	2027年11月	特別講義④	分科会活動
7	2027年12月	特別講義⑤	分科会活動
8	2028年 1月	特別講義⑥	分科会活動
9	2028年 3月 ※	分科会成果発表会	

※1か月に1回、定例会の場を設け、分科会に分かれて研究（演習）活動を行います。

※第3回例会は、1泊2日の合宿研修を予定しております。

※第4回例会は、ソフトウェア品質シンポジウムへの参加となります。

※上記定例会以外にも各コースによって、臨時会の実施、基礎コースにおいては、年2回の特別例会（8月と2月）を予定しております。
（特別例会の講義部分は、全研究員、指導講師が聴講可能です）

ソフトウェア品質管理研究会 活動① <特別講義>

例会AMに開催している特別講義は、研究員の方々はもちろん、**研究員以外の方々でも参加が可能**となっております。年間6回開催を予定しており、単発参加／年間参加が可能です。

例会No.	開催日	特別講義テーマ
1	2026年 5月29日（金）	アジャイル開発とAIチーム
2	2026年 6月19日（金）	AI Agent Coding 時代のチームビルディング： ～コンテキストロットに陥らないために～
5	2026年10月16日（金）	生成AI時代でのAIプロダクトの品質
6	2026年11月13日（金）	高品質と高スピードを支える品質のシフトレフトのアプローチ
7	2026年12月11日（金）	生成AIを前提としたソフトウェア開発の再設計：プロセスから品質保証まで
8	2027年 1月22日（金）	ソフトウェアメトリクス分析手法の使い分け

※登壇者、テーマは、都合により変更となる場合がございます。

※第42年度（2026年度）情報となります。次年度以降の分科会体制は検討中。

ソフトウェア品質管理研究会 活動① <特別講義>

毎年、斯界の第一人者、著名人の方々をお呼びし、1:30～2:00の講演をお届けしております。個別に会うのは難しい方でも、本研究会経由であれば、様々な方にお会いすることができます！



平鍋 健児 氏

株式会社永和マネジメントシステム



松尾谷 徹 氏

有限会社デバッグ工学研究所



徳 隆宏 氏

三菱電機株式会社



井芹 洋輝 氏

ソフトウェアテスト技術振興協会



竹之内 啓太 氏

株式会社NTTデータグループ



小池 利和 氏

ヤマハ株式会社

ソフトウェア品質管理研究会 活動② <分科会活動>

本研究会のメイン活動である「分科会活動」は、以下の3つ（全10コース）をご用意しております。お申し込み時に、各社・各人の問題・課題に合わせて、参加コースを決定し、ご参加をいただきます。

研究コース（研究コース1～5）

テーマに関する技術を深めるために、その進化や業務での応用実践などを目指します。最終的に活動によって得られた成果の新規性や有用性などを論文としてまとめます。

「ソフトウェアプロセス評価・改善」 「ソフトウェアレビュー」 「ソフトウェアテスト」
「アジャイルと品質」 「人工知能とソフトウェア品質」

演習コース（演習コースI～IV）

テーマに関する技術を確実に習得するために、演習を多くこなしながら実践的に学びます。論文執筆は必須ではありませんが、レポートをまとめてもらう場合もあります。

「ソフトウェア工学の基礎」 「ソフトウェアメトリクス」
「UX（User Experience）」 「セーフティ&セキュリティ」

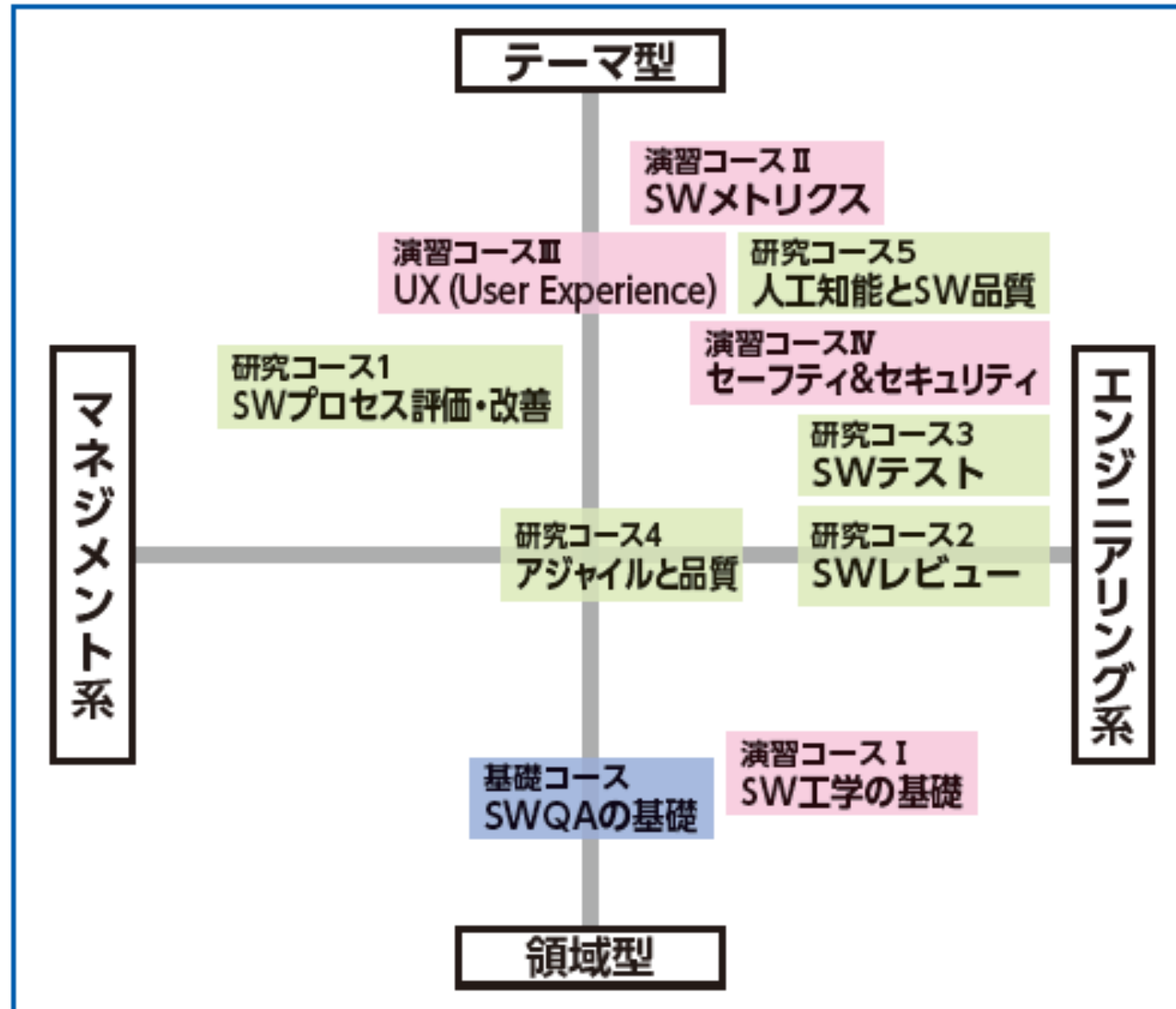
基礎コース

品質技術全般の基礎を学びます。毎回各テーマの専門家による講義と、テーマに沿ったディスカッションにより理解を深めます。単に学習だけではなく、他社の取り組みを知り、自社の課題を把握することができます。論文執筆はありません。

「ソフトウェア品質保証の基礎」

※第42年度（2026年度）情報となります。次年度以降の分科会体制は検討中。

ソフトウェア品質管理研究会 活動② <分科会活動>



※第42年度（2026年度）情報となります。次年度以降の分科会体制は検討中。

ソフトウェア品質管理研究会 活動② <分科会活動>



<合宿での風景>

研究活動の深堀・異業種交流を行います！



ソフトウェア品質管理研究会 活動② <分科会活動>



<ソフトウェア品質シンポジウム>

主に産学からの情報発信

最先端の取組み・事例を聴講

今後の研究活動に有効活用！



ソフトウェア品質管理研究会 活動② <分科会活動>



<活動成果発表会（3月）>

1年間の活動成果を披露する場

派遣いただいた上司の方、派遣責任者の
皆様も招待し、成長した参加者の様子

をご覧いただくことができます！



ソフトウェア品質管理研究会 活動③<豪華な指導陣>

本研究会は、以下の斯界の第一人者、専門家のご協力を得ながら、活動を行っております。

◆	鷺崎 弘宜	早稲田大学／国立情報学研究所／システム情報／エクスモーション
●	栗田 太郎	フリー株式会社
□	田中 桂三	オムロン株式会社
副	白井 保隆	株式会社東芝
ア	下山 一樹	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
□	中谷 一樹	TISI株式会社
副	上田 裕之	株式会社DTSインサイト
ア	安達 賢二	Software Quasol
□	喜多 義弘	長崎県立大学
副	秋山 浩一	株式会社日本ウィルテックソリューション
ア	西田 尚弘	株式会社日新システムズ
□	永田 敦	三菱電機株式会社
副	荻野 恒太郎	株式会社カカコム
ア	山口 鉄平	株式会社LayerX
□	石川 冬樹	国立情報学研究所

副	徳本 晋	富士通株式会社
□	猪塚 修	横河ソリューションサービス株式会社
副	長谷川 裕一	合同会社Starlight & Storm
□	柏原 一雄	株式会社デンソークリエイト
副	小池 利和	ヤマハ株式会社
ア	小室 睦	株式会社プロセス分析ラボ
□	金山 豊浩	株式会社メンバーズ
副	村上 和治	株式会社SHIFT
ア	三井 英樹	Weblysts.com
□	高橋 雄志	東日本国際大学
副	安樂 啓之	インフォテック株式会社
ア	金子 朋子	創価大学
□	岩井 慎一	株式会社デンソー
副	土屋 治世	SCSK株式会社
副	飯泉 紀子	丞コンサルティング株式会社

◆：ソフトウェア品質管理研究会運営小委員会委員長 ●：同委員会副委員長 □：同委員会委員 副：副主査 ア：アドバイザー

総勢 30名（2026年8月31日現在、敬称略）

ソフトウェア品質管理研究会 1日の流れ (研究会全体)

特別講義

昼食休憩

分科会活動

<研究系コース：5テーマ>

SPI評価・改善

SWレビュー

SWテスト

アジャイルと品質

人工知能とSW品質

<演習・基礎系コース：5テーマ（演習系：4テーマ、基礎系：1テーマ）>

SW工学の基礎

SWメトリクス

UX

セーフティ&セキュリティ

SWQAの基礎

解散 or 継続研究・演習活動 or 懇親会 (任意)

ソフトウェア品質管理研究会 1日の流れ (例：研究系)

- 9:30 – 9:45** 日科技連・東高円寺ビル（特別講義会場）に到着
- 9:50 – 12:00** 特別講義を聴講（自己研鑽）
- 12:00 – 13:00** 研究員&指導講師と昼食（近隣の飲食店）
- 13:00 – 15:00** 前回の振り返り、本日の進め方の確認
ソフトウェアテストの基礎（講義）
各社の取り組み、課題の共有、ディスカッション
- 15:00 – 15:15** 小休憩
- 15:15 – 18:00** 各研究テーマ（グループ）に分かれて、調査・研究活動
& 指導講師とディスカッション、相互研鑽
- 17:30 – 18:00** 本日の検討内容の共有、ディスカッション
- 18:00 –** 解散 or 継続研究活動（任意）
コースによる懇親会（飲みにケーション）（任意）

※上記は、あくまでも一例です。各コースにより、1日の流れや活動内容が異なります。

※本研究会のプログラムは原則、18:00までとなります。18:00以降の活動は強制ではありません（任意の活動）。

ソフトウェア品質管理研究会 1日の流れ (例：演習・基礎系)

- 9:30 – 9:45** 日科技連・東高円寺ビル（特別講義会場）に到着。
- 9:50 – 12:00** 特別講義を聴講（自己研鑽）
- 12:00 – 13:00** 研究員&指導講師と昼食（近隣の飲食店）
- 13:00 – 15:30** アジャイル開発の基礎（講義・演習）
- 15:30 – 15:45** 小休憩
- 15:45 – 17:30** アジャイル開発に関する上記テーマに関するディスカッション
- 17:30 – 18:00** 本日の検討内容の共有、ディスカッション
- 18:00 –** 解散 or アフター活動（任意）
コースによる懇親会（飲みにケーション）（任意）

※上記は、あくまでも一例です。各コースにより、1日の流れや活動内容が異なります。

※本研究会のプログラムは原則、18:00までとなります。18:00以降の活動は強制ではありません（任意の活動）。

ソフトウェア品質研究会 参加費&特典のご紹介



ソフトウェア品質管理研究会参加費&特典のご紹介

■本研究会 参加費（1名）＊税込 326,700円（一般）／297,000円（会員）

組織の人材教育の継続と、個人のステップアップのために推奨している「複数年参加」を協力をサポートいたします！！組織の持続的成長の核となる継続的な「ひとづくり」。ぜひ継続参加企業の特典をご利用ください。

■本研究会 継続参加企業の特典参加費 ＊税込 311,850円（一般）／282,150円（会員）

[対象1] 前年度から継続参加している企業または参加者

[対象2] 過去「実践コース（現在休止中）」に申込みをされた企業または参加者

■特別講義 参加費（1名）＊税込 単発申込：22,000円（一般・会員ともに） 年間申込：88,000円（一般・会員ともに） ※単発申込よりも、44,000円お得です！

■日科技連 賛助会員入会がお得です！ SQiP研究会の割引価格での参加以外にも、多くの特典が受けられます。 詳細はこちら：https://www.juse.or.jp/guidance_member/index.html

ソフトウェア品質管理研究会参加費&特典のご紹介

■本研究会 研究員の参加者特典：

- (1) **特別講義のオンデマンド**が視聴可能！
- (2) 所属コース以外の研究会**指導講師陣との個別相談**も可能！
- (3) **分科会成果発表会もオンデマンド化し、振り返りが可能！**
- (4) **【eラーニング】ソフトウェア品質技術者初級セミナー／SQiP オンデマンドセミナー（全4つ）**を参加年度内の学習が無料で可能！
- (5) **SQiP関連セミナー受講を特別優待価格（賛助会員価格）**で受講可能！
- (6) 日科技連出版社発行の**書籍を2割引き**で購入可能！
- (7) **SQuBOKガイド第3版を1割引き**で購入可能！
- (8) 研究会内で実施する講義（特別例会）や論文執筆の極意、緊張のコントロール講座を無料で受講できます。

ソフトウェア品質研究会 さいごに



ソフトウェア品質管理研究会 よくある質問集①

Q. いつから申込を開始しますか？

- A. 2027年度は、2027年1月下旬を予定しております。
申込開始をいたしましたら、Webサイトならびに当グループのメールニュースにてご案内をいたします。

Q. いつまでに申込をすればよいですか？

- A. 各年度で申込期限を設定しております。
2026年度は、**2027年4月中旬**を締切としております。

Q. 申込が期日に間に合いません！

- A. 申込人数、参加希望コースを当方にご連絡をいただければ、お席の確保が可能です。
ただし、上限に達したコースがある場合は、その限りではございませんので、お早めにご連絡ください。

Q. 前年度の余った予算で参加したいのですが・・・

- A. もちろん可能です！前年度内に請求書発行も可能ですので、お気軽にご相談ください。

Q. どのコースに参加をするべき、派遣をさせるべきなのか迷います・・・

- A. よくあるご質問です。その場合は、事前に課題感を共有いただくためのヒアリングの場を設けさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

Q. 本当に第一希望のコースに参加できるのでしょうか。

- A. 原則、第一希望のコースにご参加をいただきます。しかし、参加人数によって、第二希望のコースに移動していただく場合がございます。その場合は、事前にご相談、ご連絡をいたします。

ソフトウェア品質管理研究会 よくある質問集②

Q. 研究会活動が不安です・・・。

A. はじめは、誰でも不安に思うと思います。活動前に、我々や指導講師によるヒアリングも可能ですので、不安を払拭した上で、ご参加をいただけますと幸いです。

Q. レベルが高いと感じます・・・。

A. 本研究会では、参加者各人で問題・課題意識が異なります。また、研究活動を進めるうえでのテーマも異なります。本研究会の指導講師は、斯界の第一人者、専門家の方ですので、皆様のレベルに合わせて進めてまいりますのでご安心ください。

Q. 他の講師とディスカッションをしたいのですが・・・

A. 当方もしくは、所属コースの指導講師にお声がけください。調整の上、ディスカッションの場を設けさせていただきます。

Q. SQiP研究会の特典を受けたいです。

A. 第1回例会時に詳細のご説明を申し上げます。

Q. 成果発表会に会社の方々をお呼びしたい。

A. 大歓迎です。会場のキャパシティ、Zoomの上限等を加味しての対応となりますため、もし、お呼びしたい方がいらっしゃれば、事前に当方までご連絡ください。

Q. 本研究会は、本当に「人生のターニングになる」のでしょうか？

A. 人生のターニングポイントになるか、ならないか、はご参加をいただく方々の気持ち次第です！当方や指導講師の皆様は、人生のターニングポイントとなるようサポート体制を万全に行ってまいります。受け身ではなく、自ら学ぶ、研究をする意識でご参加をいただければ幸いです。

ソフトウェア品質管理研究会 さいごに

派遣いただく企業の皆様にとっては、従業員の皆様の本業のお時間を少なくし、本研究会の時間を割いていただく形となります。

本研究会での活動は、参加者ご本人、日科技連、指導講師がそれぞれ好きなように活動するのではなく、三位一体（派遣企業様を含めると四位一体）での活動が重要になります。

ご派遣いただく皆様のご理解と多大なるバックアップなくして、本研究会の活動は成り立ちませんので、ぜひ、本研究会の継続開催に向けて、皆様のご協力をお願いできればと思います。

次年度の活動詳細に関しては、2026年11月16日（月）14:00～に開催予定の無料講演会「OPEN DAY」でご紹介します。生成AI時代に求められるソフトウェア品質技術者を目指して、一緒に活動していきましょう。

品質経営で
明るい未来を創る

ソフトウェア品質管理研究会

— Software Quality profession Work Shop !
